



私の思い出写真館

女性活躍 待ったなし



徳植 桂治
太平洋セメント
取締役会長

近ごろ、女性活躍をめぐる議論がかまびすしい。国と経済界は日本経済を活性化させる有力な原動力として後押しに余念がない。『日本再興戦略』改訂2014』では、女性の活躍や登用について「見える化」しようとの試みも進んできた。

少し前までは活躍・登用ではなく、恥ずかしながら(自社でも)女性の活用というジェンダー・バイアスな言葉で議論していたものだ。女性の活躍を当たり前のように実現してきた業種・業態もあり、昨今の動きについて、押し付けで男のお節介と違和感を唱える向きもある。それは強い意志を持った女性がおのずとフロンティアをこじ開けてきた結果だと思う。今、議論されているのは、そのフロンティアを閉ざしてきた側の覚悟をこじ開けることだ。あまねく国民運動的に広がり、定着することを強く期待したい。

写真は昨年10月、自社タイ・バンコク事務所設立20周年で訪問した際のスナップだが、10周年にも出席したというので写真を探した。いずれも女性に囲まれご満悦だが、10年前と同じ顔ぶ



タイ現地法人の女性社員と20周年の記念写真



10周年の記念写真(左側が筆者)

れでお互い年だけ重ねた。なお、日本人を除く現地法人スタッフは男10、女9で仕事は同等で違和感もないという。翻って自社日本の女性比率はというと、今年度の採用こそ17%だが従業員で5.4%と、産業界でも最下位だ。来春から採用30%、2020年までに女性比率10%、管理職も10%を目指すことを公表した。東南アジア数カ国で事業展開しているが、どこも女性活躍は目覚ましい。日本だけが業種柄か選んでいただけなかったのは事実だ。一方で就業支援やワークライフ・マネジメントの整備に課題が残る。

さて、最後の一枚は温泉交流で、「裸の付き合い」とも言う。10年後には死語になっているかもしれない、この機会に日本の文化の記録として残したい。寂しいが。



6年前、タイ国サイアムセメント社長と熱海で